

科目名	国家試験対策						
科目名(英)	national qualifications measure						
単位数	3	時間数	45時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	ブライダル・ウエディング科が受験する国家試験(ブライダルコーディネーター技能検定3級)の筆記問題及び視聴覚(映像)問題の対策を行う。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				検定の過去問(筆記問題)対策を行い、筆記問題の正答率を高める。	
	○	○				検定の過去問(映像問題)対策を行い、映像問題の正答率を高める。	
テキスト・教材 参考図書	BIA ABC検定過去問(2019~2007) BIA ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>、BIAブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	国家資格試験の概要説明(筆記問題・視聴覚問題)				ブライダルのお仕事「職種紹介」について読んでおく	
	2	過去問 ABC検定2019・2018 (筆記問題対策)① 回答と説明				なし	
	5	過去問 ABC検定2017・2016 (筆記問題対策)② 回答と説明				前回の計算プリントの見直し	
	7	過去問 ABC検定2015・2014 (筆記問題対策)③ 回答と説明				前回の計算プリントの見直し	
	9	過去問 ABC検定2013・2012 (筆記問題対策)④ 回答と説明				前回の計算プリントの見直し	
	10.11	過去問 ABC検定2011・2010 (筆記問題対策)⑤ 回答と説明				前回の計算プリントの見直し	
	12.13	過去問 ABC検定2009.2008 (筆記問題対策)⑥ 回答と説明				前回の計算プリントの見直し	
	14.15	過去問 ABC検定2007・2006 (筆記問題対策)⑦ 回答と説明				前回の計算プリントの見直し	
	16.17	過去問 ABC検定2019・2018 (筆記問題対策)⑧ 回答と説明				前回の計算プリントの見直し	
	18	最近のブライダル業界を考える(時事問題対策)①				前回の計算プリントの見直し	
	19	最近のブライダル業界を考える(時事問題対策)②				前回の計算プリントの見直し	
	20	視聴覚問題対策①				来館アンケート作成・前回の計算プリントの見直し	
	21	視聴覚問題対策②				前回の計算プリントの見直し	
22	過去問 オリジナルプリント(筆記・視聴覚問題対策)⑧ 回答と説明				前回の計算プリントの見直し		
23	模擬試験(最終対策)				発表資料をまとめておくこと		
評価方法	(1)授業の中で過去問題を17回実施する。(2)正試験(筆記) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	過去問正答率	◎	◎		◎		40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	パーソナルカラーB								
科目名(英)	Personal Color								
単位数	2	時間数	30	担当者	吉田 浩子				
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	パーソナルカラー協会				
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年								
授業概要	衣食住の様々なシーンでの色の重要性を知り、ビジネスの場でパーソナルカラーを活かしながら、モノだけではなくコミュニケーションツールとして活用する。色の知識を深め、センスを磨き応用力を身につけパーソナルカラー検定習得を目指す。								
授業形式	講義	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○					パーソナルカラーリストの特徴を理解し、人に合う色やフアツション、ヘア・メイクを提案出来る。			
		○				色の見える仕組みや歴史を理解し、色を分類する力を養う。			
		○				配色効果を学び、色の選択が出来る。			
		○				ブライダルと色の関連性を学び、トータルの色の応用力を身につける。			
			○			人の特徴に合わせた色のプレゼンテーションが出来る。			
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラー検定公式テキスト・カラーカード・パーソナルカラー問題集3・2級 COLOR Arrangement								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1	色彩と文化1～日本の色の歴史や生活の中での色を知る					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと		
	2	色彩と文化2～色の種類やその特徴					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	3	色彩理論～色のしくみ、					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	4	色彩理論～CUS表色系					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	5	色彩理論～色の三属性と対比現象					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	6	色彩理論～CUS配色効果					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	7	色彩とファッション					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	8	パーソナルカラー					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	9	パーソナルカラー3級検定まとめ					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	10	色彩と文化～染料					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	11	色彩と文化～ヨーロッパの色の歴史					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	12	色彩理論～混色					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	13	色彩理論～照明と色					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	14	色彩理論～色の知覚効果					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
	15	基本的な配色テクニック					テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題		
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)プリント、課題を実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	小テスト3回	◎	○				90%		
	宿題・レポート				○		5%		
	発表・作品				○		5%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。								

科目名	スタイリスト演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	大楠先生		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	骨格スタイル講師		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・2年						
授業概要	一人一人の体型に合わせた「似合うファッション」をアドバイスできるようになる						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△					骨格スタイルの分類を理解し、説明できる	
		○	○			スタイルに合わせた着こなし、アイテムが合わせられるようになる	
		○	○			自分に合った着こなしができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	「似合う」とは？ファッションで重要となる3大要素					
	2	骨格スタイルの分類について					
	3	骨格スタイル分析方法					
	4	骨格スタイル分析練習					
	5	骨格スタイル別着こなしポイント					
	6	骨格スタイル別、アイテム&デザインの合わせ方					
	7	コラージュ作成					
	8	似合わないものプレゼン					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)コラージュ作成 (2)期末筆記試験 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	コラージュ作成	○	○	○			20%
	筆記試験		○				80%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	海外ウェディング概論						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15時間	担当者	八尋		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行代理店勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	海外ウェディングを知るために、ブライダル産業がさかんな地域の実例を調べて、オリジナルプランを作成する。 お客様に海外ウェディングの特徴や魅力が説明できるようになる						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ウェディングがさかんな地域を知る	
	○					現地のブライダルプランを研究し、特徴を把握する	
	○	△				オリジナルプランの作成	
	○	△				観光地研究、発表	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	海外ウェディングの特徴・魅力について					
	2	海外ウェディングが有名な地域-ハワイ					
	3	海外ウェディングが有名な地域-グアム					
	4	海外ウェディングが有名な地域-その他					
	5	ウェディングプラン調べ①					
	6	ウェディングプラン調べ②					
	7	オリジナルプラン作成					
	8	発表					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)各回作成のノート提出 (2)発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	ノート提出	○	◎				50%
	発表		○		◎		50%
履修上の注意							

科目名	イラストレーター / フォトショップ						
科目名(英)	Illustrator/Photoshop						
単位数	2 単位	時間数	30	担当者	森 秀 樹		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	デザイン設計事務所経営		
対象学科・学年	ブライダルウェディング科 2年						
授業概要	・ブライダルウェディングの現場で必要とされているイベント紹介チラシ、ポスター等のデザイン物をパソコンソフト(イラストレーター/フォトショップ)を使って制作できるスキルを身につける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			パソコンのソフト(イラストレーターとフォトショップ)を使い、簡単なデザイン物が作れる。	
		○				伝える相手を思いやり、それを形(デザイン)に反映させることができる。	
				○		期限までに制作し、確実に提出ができる。(余力があれば、複数案提出する)	
テキスト・教材 参考図書	・なし。その都度必要に応じて、データやコピー物を配布する。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	パソコンの取扱い。使用ソフト(イラレ、フォトショ)の説明。				・教科書を使用しないため、各自でメモをとること。	
	2	イラレ①-文字のみを使って、自己紹介ページを作る。1/2				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	3	イラレ②-文字のみを使って、自己紹介ページを作る。2/2→提出				・提出時間を守ること。	
	4	イラレ③-簡単に描ける図形の取扱い。拡大縮小、移動、複製等。1/2				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	5	イラレ④-簡単な図形と文字を組み合わせデザイン物を作る。2/2→提出				・提出時間を守ること。	
	6	フォトショ①-写真の初歩的な取扱い。明度、彩度の調整、回転等。				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	7	フォトショ②-写真の初歩的な取扱い。解像度及びイラレへの配置の仕方。クリッピングマスクを使い写真のトリミングを学ぶ。				・必要に応じて、各自メモをとること。 メモを読み返して復習しておくこと。	
	8	フォトショ③-スマホでスナップ撮影会。その後、パソコンへの取り込み。				・校舎外で撮影するため、行動時間を守ること。	
	9	イラレ⑤-シンプルな図形を加工して、装飾デザイン要素(花)をつくる。1/2				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	10	イラレ⑥-前回作った花の図形をメインに使い、催し物のチラシを作る。				・提出データ数及び提出時間を守ること。	
	11	(第8回で)自分で撮った撮影データを使って、デザイン物を作る。1/2				・必要に応じて、各自メモをとること。 また、メモを読み返し復習しておくこと。	
	12	自分で撮った撮影データを使って、デザイン物を作る。2/2→提出				・提出時間を守ること。	
	13	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。1/3(最終課題)				・これまでのメモを読み返して復習しておくこと。	
	14	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。2/3				・これまでのメモを読み返して復習しておくこと。	
15	(イラレ+フォトショ)を使って、イベント案内チラシを作る。3/3→提出				・提出時間を厳守すること。		
評価方法	(1)小作品づくりを数回行う。(2)最終課題作品制作——後期の授業を通して学んだスキルを活かし、与えられたテーマに沿ったイベント案内チラシを制作する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作品制作		○	○	◎	◎	50%
	最終作品		○	○	◎	◎	50%
							※その他は課題の提出数や状況のこと。
履修上の注意	全ての課題作品の提出がなされない場合は評価の採点を行わないので、必ず全て提出すること。(企業研修や学校が認めた理由がある場合は考慮する。)						

科目名	ブライダルフラワーⅡ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科・2年						
授業概要	1年時のフラワー演習、2年前期のテーブルコーディネートより上級のテクニックを学び、ブーケ作成、クリスマスアレンジや正月飾りなど、行事に合ったアレンジができるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ドレスに合わせたブーケをセレクトし、作成することができる	
		○				テーマに沿った会場装花、ブーケを作成し、写真撮影ができる	
			○			基本のラッピングができるようになる	
		○	○			自ら花材を選んでブーケを作成することができる	
	○	○			クリスマスや正月に合わせた行事の花のアレンジができる		
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・生花・造花・ワイヤー・フローラルテープ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバスの説明・ドレスとブーケの相性復習				ブライダル装美と演出のブーケ、ドレスのデザインのところを読み返す	
	2	ドレス、モデル、ブーケ決め(花出し)					
	3	会場コーディネート、メイン装花デザイン決め、発注書作成					
	4	ブートニア、ヘアコサージュ作成(生花にて)					
	5	モデルに合わせてメイン装花、ブーケ作成、ヘアコサージュ作成					
	6	各グループモデル撮影会					
	7	ラッピング①					
	8	ラッピング②					
	9	ラッピング③					
	10	ブーケ花材買出し					
	11	ブーケ作成①					
	12	ブーケ作成②					
	13	クリスマスアレンジ作成					
	14	お正月の花アレンジ作成					
15	チャリティー用お正月飾り作成						
評価方法	(1)会場装花、ブーケ、モデル写真撮影企画書提出 (2)会場装花、ブーケ作品発表 (3)ラッピング作品評価 (4)ブーケ作品評価(5)クリスマス作品評価(6)お正月飾り作品評価						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	企画書提出	○	○		○		10%
	発表・作品		○	◎	○		90%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	社会教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30時間	担当者	東		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	専門式場にてフラワー コーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	就職活動に向けて、面接やエントリーシートの書き方の対策を行う。社会人としてブライダル業界で活躍できる人財になる為に必要な要素を知る。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					就職内定	
	○					面接にて実力が発揮できるようになる。	
	○	○				社会の事を知り就職後も生かせるよになる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック ブライダルのお仕事 (ウエディングジョブ発行)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	2	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	3	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	4	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	5	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	6	日本の伝統文化について学ぶ①					
	7	日本の伝統文化について学ぶ②					
	8	社会人としてのお付き合いマナー					
	9	年金について学ぶ、就活指導					
	10	裁判について学ぶ、就職指導					
	11	裁判ウォッチング①					
	12	裁判ウォッチング②					
	13	博多の街探索(歴史や観光地について)①					
	14	博多の街探索(歴史や観光地について)②					
15	社会人マナー研修						
評価方法	(1)宿題・レポート提出 評価上記提出「R」とする。”						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート		◎		○		100%
履修上の注意							

科目名	茶道						
科目名(英)	Tea Ceremony						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	真武 美知子		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	茶道歴50年		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	茶道を通して、和室での作法、茶道の基本動作(点前・お客・お運び)を習得することで、日本文化の良さを理解し”おもてなし”の心を身につける。茶道の一連の流れの中で、目配り・気配り・心配り・が出来る人になり、仕事に役立つよう自分自身を磨く。薄茶点前が出来ることを目指す。						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○		△			茶道具を覚える。茶菓子の種類を学ぶ	
	△		○	△		和室での所作習得。襖の開閉、茶室への入り方、畳の歩き方、座り方を習得	
	△		○	△		盆点前。茶筥でお茶を点てる、お茶をいただく、お茶を運ぶ、実習し習得	
	△		○	△		割り稽古追加(服紗さばき・茶入・茶杓の拭き方・茶筥通し・茶巾の扱い)習得	
△		○	△		炉による薄茶点前習得		
テキスト・教材 参考図書	道具名称 ・ お菓子 (コピーを配布)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自己紹介・シラバス説明・和室での基本動作実習。お稽古セット、茶道具・茶菓子・水屋の説明。			茶道具を覚える(プリントあり) 正座(畳に座ること)に慣れる。		
	2	点出し(点前・お運び・客)お茶の点て方・飲み方・お菓子			抹茶の量、点て方を覚える 服紗のたたみ方・しまい方		
	3	点出し、割り稽古(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方)			割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方)		
	4	略点前(お盆点て) 割り稽古(茶巾の扱い・茶碗の拭き方)			割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方) 追加(茶巾の扱い・茶碗の拭き方)		
	5	略点前(お盆点て) 割り稽古(茶筥通し)			割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方・茶巾の扱い・茶碗の拭き方) 追加(茶筥通し)		
	6	略点前(お盆点て) 挨拶の仕方と割り稽古復習			割り稽古復習(服紗さばき・茶入、茶杓の拭き方・茶巾の扱い・茶碗の拭き方・茶筥通し)		
	7	略点前(お盆点て) 通し練習(点前・客・お運び・水屋)			割り稽古復習 点前の順序・流れを覚える。		
	8	略点前(お盆点て) 通し練習(点前・客・お運び・水屋)			割り稽古復習 点前の順序・流れを覚える。		
	9	炉(薄茶点前) 風炉と炉との違い説明(季節・道具)			柄杓・蓋置の扱いを覚える。		
	10	炉(薄茶点前) 建水を運び出した所から			建水・蓋置・柄杓の位置を覚える。		
	11	炉(薄茶点前) 客の作法・お運び・水屋準備を再確認			割り稽古の復習、スムーズに出来るようにする。		
	12	炉(薄茶点前) 点前の順序・流れを覚える			点前の順序・流れを覚える。		
	13	炉(薄茶点前) (総仕上げ) 各役割を確実にを行う			点前の順序・流れを覚える。		
	14	評価 炉(薄茶点前) 2名ずつ					
15	評価 炉(薄茶点前) 2名ずつ						
評価方法	(1)実技試験 (2)お手前取り組み 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期実技試験			◎	○		60%
	中間実技試験			◎	○		40%
履修上の注意	ソックスを履く。女性はスカート着用、髪を束ねる。服紗をつけるのにベルトがある物を着用又は紐を持参する。当番を決める(お菓子・準備・後片付け) 5分前に授業終了し掃除・後片付けをする。						

科目名	Windows演習						
科目名(英)	Windows						
単位数	2単位	時間数	30	担当者	平井		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	パソコンインストラクター		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科2年						
授業概要	ビジネスの現場で必要とされるレポートや報告書を、Word・Excel・PPを活用して作成する。 作成時に制限時間を設けることで、ある一定の時間で書類作成ができるようにする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			10分間の入力スピードを400字以上にする	
		○				ビジネス文書の基本的な構成を組み立てる	
		○	○			Word・Excel・PPで必要な操作を行い、様々な書式のビジネス文書を作成する	
テキスト・教材 参考図書	・ビジネス文書作成見本(プリント配布)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	スピード入力／ ビジネス文書(社内文書・社外文書)				入力練習	
	2	スピード入力／ ビジネス文書(表作成)				入力練習	
	3	スピード入力／ 複雑な表(Word編)				入力練習	
	4	スピード入力／ 複雑な表(Excel編)				入力練習	
	5	スピード入力／ 複雑な表(Excel編)				入力練習	
	6	スピード入力／ Excel・Word連携①				入力練習	
	7	スピード入力／ Excel・Word連携②				入力練習	
	8	スピード入力／ Word応用(段組み)				入力練習	
	9	スピード入力／ Word応用(旅程表)				入力練習	
	10	スピード入力／Excel応用(カレンダー管理・シリアル値)				入力練習	
	11	スピード入力／Word応用(申込書)				入力練習	
	12	スピード入力／ Excel応用(グラフ活用)				入力練習	
	13	スピード入力／ Excel応用(見積書作成)				入力練習	
	14	スピード入力／ PP(図解とマスター)				入力練習	
	15	スピード入力／ 最終課題				入力練習	
評価方法	・課題の印刷と提出(15回)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	スピード入力			◎			10%
	課題提出(15回)		○	◎			90%
履修上の注意	作成したデータは毎回USBに保存をする。						

科目名	サービス介助						
科目名(英)	Service assistance						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	玉置		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社客室乗務員		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	超高齢社会にある日本において公共機関、交通機関、商業施設、レジャー施設、観光施設などあらゆる接客・接遇の場面で全ての人々が安心して暮らしていけるサービスが必要である。この授業では、自分のできることや自分の役割を常に意識し、自発的に様々な人に関わり、円滑なコミュニケーションと快いサポートが提供できるようになるスキルの習得を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					超高齢社会の日本の現状を字ひ、高齢者体験を通して高齢者の心身の状況を説明できる。	
			○			肢体不自由者の状態を学び、サポートできるようになる。	
			○			肢体不自由者の状態に応じた車椅子介助ができるようになる。	
			○			視覚障がい者の状態と環境を字ひ、体験を通し介助のしかたを工夫して提供できるようになる。	
	○					聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助のしかたを工夫できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	超高齢社会の日本の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	2	肢体不自由者 - 肢体不自由者とは				本日の授業内容を復習しておくこと	
	3	肢体不自由者 - 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	4	肢体不自由者 - 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	5	肢体不自由者 - 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	6	肢体不自由者 - 車椅子介助の実技試験				本日の授業内容を復習しておくこと	
	7	高齢者介助 - 高齢者体験				本日の授業内容を復習しておくこと	
	8	高齢者介助 - 高齢者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	9	高齢者介助 - 高齢者の心身の変化				本日の授業内容を復習しておくこと	
	10	視覚障がい者 - 視覚障がい者体験(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと	
	11	視覚障がい者 - 視覚障がい者介助演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	12	視覚障がい者 - 視覚障がい者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	13	聴覚障がい者 - 聴覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと	
	14	聴覚障がい者 - 聴覚障がい者介助演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	15	総まとめ・レポート課題					
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)レポート、課題プリントの提出以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業中の実技試験			◎	◎		50%
	レポート提出	○	◎		◎		50%
履修上の注意							

科目名	プランナー演習(専攻)						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	90時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	2年後期に開催される模擬結婚式に向けて、プランナー専攻として全体テーマに基づいた結婚式の企画・プランニングを行う。披露宴内の演出・コーディネート・進行プログラム・料理サービス・音響照明・ペーパーアイテム・ブライダルアイテム全般の決定及び準備を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				結婚式の進行プログラムの作成	
	○	○	○			結婚式の音響照明の決定と映像演出の作成	
	○	○	○			結婚式の料理サービスの指揮と会場全体の運営(キャプテン)ができる。	
	○	○				結婚式のテーマに合わせたコーディネート及び装飾品の企画提案。	
	○	○	○			ブライダルアイテムの提案と作成(ペーパーアイテム)	
テキスト・教材 参考図書	BIA ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>、BIAブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	模擬婚概要説明・各専攻の役割説明・全体でのテーマ考察					
	2	リーダー・サブリーダー・各役割決め					
	3	模擬婚会場見学					
	4	講義:コンセプト作成について 模擬婚コンセプトシート作成					
	5	模擬婚コンセプトシート作成				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	6	模擬婚コンセプトシート作成・全体へのコンセプト説明				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	7	講義:模擬婚進行決め				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	8	模擬婚進行決め・全体への進行説明				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	9	各役割に分かれて準備				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	10	各役割に分かれて準備				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	11	各役割に分かれて準備				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	12	各役割に分かれて準備				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	13	各役割に分かれて準備				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	14	各役割に分かれて準備				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
	15	各役割に分かれて準備				プランナー専攻ノート提出(先週のまとめ)	
評価方法	(1)レポート提出(2)課題を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出	◎	◎		◎		70%
	課題	○	○		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	ドレス演習(専攻)						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	90時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	2年生後期に開催される模擬結婚式に向けて、ドレス専攻として全体テーマに基づいた衣裳の選定やヘアアレンジ、メイクチームと協力し、モデル作りの練習を実施する。新郎新婦モデルの演出、ウォーキングができるように準備を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
						○ 模擬結婚式に相応しい新郎新婦モデルの選定ができる	
						○ 全体テーマに合わせた新郎新婦の衣裳及び衣裳小物の選定ができる	
		○	○			全体テーマに合わせたヘアメイクを考案し、ビューティ専攻と協力してモデルをつくること ができる	
		○	○			和装の着付けができるようになる	
	○	○				全体テーマに合わせたモデルの動き、演出ができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め					
	3	会場見学					
	5	衣裳合わせ準備					
	7	衣裳合わせ					
	8	モデルイメージ決め					
	9	決定事項の共有					
	10	～13 各チームに分かれて練習(和装着付け・ドレス・演出)					
	14	～17 自主練習					
	18	～21 1ヶ月前リハーサル①・リハーサルの反省点の共有と内容修正					
	22	～24 ウォーキング練習・リハーサルの反省点から演出修正					
	25	～28 本番会場でのリハーサル② 反省点の共有と内容修正					
	29	～32 場準備及びリハーサル・最終調整					
	33	～36 模擬結婚式本番					
	37	～40 模擬結婚式の片づけ及び整理整頓作業					
41	～45 模擬結婚式の写真映像鑑賞及びレポート作成						
評価方法	(1)模擬結婚式のレポート提出。(2)担当ごとの課題(業務の完成度) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出	◎					70%
	課題	◎		○			30%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ビューティー演習(専攻)						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	90時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテルにて、 料飲部門スタッフとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	2年生後期に開催される模擬結婚式に向けて、ビューティー専攻として全体テーマに基づいた衣裳の選定やヘアアレンジ、メイクの練習を実施する。新郎新婦モデル・ヘアアレンジ・メイク・ネイルの決定及び準備を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
						○ 模擬結婚式に相応しい新郎新婦モデルの選定ができる	
						○ 全体テーマに合わせた新郎新婦の衣裳及び衣裳小物の選定ができる	
		○	○			全体テーマに合わせたヘアアレンジを考案し、新婦モデルのヘアセットができるようになる	
		○	○			全体テーマに合わせたメイクを考察し、新婦モデルのメイクセットができるようになる	
	○	○			全体テーマに合わせたネイルを考察し、新婦モデルのネイルを作成することができる		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め					
	3	会場見学					
	5	衣裳合わせ準備					
	7	衣裳合わせ					
	8	モデルイメージ決め					
	9	決定事項の共有					
	10	～13 ヘアアレンジ・メイク講座①②③④					
	14	～17 自主練習					
	18	～21 1ヶ月前リハーサル・リハーサルの反省点の共有と内容修正					
	22	～24 ヘアアレンジ・メイク講座⑤					
	25	～28 本番会場でのリハーサル② 反省点の共有と内容修正					
	29	～32 場準備及びリハーサル・最終調整					
	33	～36 模擬結婚式本番					
	37	～40 模擬結婚式の片づけ及び整理整頓作業					
41	～45 模擬結婚式の写真映像鑑賞及びレポート作成						
評価方法	(1)模擬結婚式のレポート提出。(2)担当ごとの課題(業務の完成度) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出	◎					70%
	課題	◎		○			30%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	プランナー演習(専攻)						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	90時間	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	門式場にてフラワーコーディネーターとして		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	2年後期に開催される模擬結婚式に向けて、フラワー専攻として全体テーマに基づいた披露宴会場内のテーブルコーディネート、ブーケ、ブートニアのデザイン、作成を行う。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		当日の会場装花、ブーケ作成までの計画をたてることのできる	
	○	○		○		テーマに合ったテーブルコーディネートを考え必要な物を準備することのできる	
		○	○	○		テーマに合ったテーブルコーディネートを制作することのできる	
	○	○		○		テーマやドレスに合わせたブーケを提案し、必要な花材を出すことのできる	
	○	○	○		テーマやドレスに合わせたブーケを制作することのできる		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルの装美と演出						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	～4模擬結婚式のテーマ・コンセプト決め、チーム&担当決め①					
	6	各担当毎のスケジュール・準備内容の話し合い					
	7	～9卓上装花デザイン決め、花材発注					
	10	11卓上装花作成、練習					
	12	13メイン装花デザイン決め、花材発注					
	14	15メイン装花作成、練習					
	16	～19学内リハーサル					
	20	21ブーケデザイン決め、花材発注					
	22	～25ブーケ、ブートニア作成					
	26	～29本番会場でのリハーサル					
	30	31メイン、卓上、ブーケ、ブートニア下準備					
	32	～35メイン、卓上、ブーケ、ブートニア作成、リハーサル					
	36	～39模擬結婚式本番					
	40	41模擬結婚式の片づけ及び整理整頓作業					
42	～45模擬結婚式の写真映像鑑賞及びレポート作成						
評価方法	(1)模擬結婚式のレポート提出。(2)企画書作成、作品制作・発表を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート提出	○	○				30%
	企画書、作品制作・発表			○	○		70%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	手話						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平嶋		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	手話入門編 視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使って聴覚がい者に伝え合うことを学ぶ 手話の基本を身につける(指文字、挨拶、数字等) 結婚式場にて手話でご案内ができるようになる						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標+E1E10:AE24	
	○					聴覚障がいの基礎知識を覚える	
	○					聴覚障がい者の生活を知ること、どのようなサポートが必要かを考え行動することが出来る	
		○				手話入門(実演)	
			○			結婚式場にて手話で案内ができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	名前の紹介					
	2	家族の紹介					
	3	数を使って					
	4	趣味について					
	5	仕事について					
	6	住所の紹介					
	7	自己紹介					
	8	中間確認テスト					
	9	結婚式の場面でのお客様案内					
	10	披露宴会場内での料理、飲み物説明					
	11	気分が悪そうなお客様への手話					
	12	災害のときの案内					
	13	感謝、御礼について					
	14	復習/実技試験					
15	実技試験						
評価方法	(1)小テスト5回実施する (2)レポート提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(筆記)3回	◎	○				60%
	小テスト(実技)2回			◎	○		30%
	レポート	○			○		10%
履修上の注意							